

## 基本理念

- 大都市のベッドタウンから脱却し、「自立する奈良県」実現のため、県民・来訪者の移動やまちづくりを支える域内交通とその拠点を創造する。
- 地域がより主体的に域内の公共交通を維持・充実する取組みを推進する。

※本計画の位置付け:国からの権限移譲や財源の充実を見据え、県や関係主体が連携して取り組めるよう、今のうちから準備・実施

## 基本的な取組み方針

### [1] 域内交通の維持・充実に向けた取組み強化

- ・ バスカルテ・まちづくりデザインをベースに、地域がより主体的に公共交通の維持・充実を図る取組みの強化(例:鉄道と並行するバス路線の見直し等)
- ・ 赤字路線に対する行政負担のあり方の見直し

### [2] 地域の拠点としての鉄道駅やバス停等空間の質向上

- ・ 駅・バス停等の基本施設やその周辺が「地域の拠点」として機能するよう、一体的な質の向上
- ・ バリアフリー目標の達成に向けた取組

### [3] デジタル技術活用による公共交通サービスの向上

- ・ 地域の移動手段確保(AIオンデマンド交通、自動運転等)
- ・ 観光・医療など他分野とも連携した移動の利便性向上(MaaS等)